

追加資料

完全防水型 水力発電機

すいじん3号

希望販売価格 **58万円** (税別) 出力 **2.2kw** (MAX3kw)

コンパクト
高出力

標準の水車は
モーターボートの
プロペラを使用。
但し、他の水車も
取付可能。

取付穴M10
3等分前後2ヶ所

3号

標準の設置は水中、水深300のハイブリッド、設置し、但し、空中設置にも対応可能。

使用例
リザーブタンク方式
貯水タンク
オーバーフロー
排水管
すいじん3号
発電機

本機は、地域の企業集団がLED防犯灯に続き、製品開発

産業センターを拠点に、科学技術振興機構や大学と連携した取り組み仕様

定格出力/2.2kw
定格電圧/AC200V
相数/3相
定格回転数/750rpm
動作温度/0~30℃
使用環境/水中及び屋内外
発電機寸法/
140mm×600mm 1

再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例

背景

- ① 温室効果ガス削減のための自然エネルギー導入
- ② 再生可能エネルギーによる電気的全量固定価格買取制度(FIT)のスタート(H24. 7~)
- ③ 2,000時間を越える年間日照時間、豊富な水資源、森林面積85%
- ④ 自然エネルギー資源の活用と地域住民や行政等とのかかわりが不明確

全国初の試み

再生可能エネルギー資源を地域住民共有の財産と捉え、この資源を活用する権利はまず地域住民に存する

➡

地域環境権の付与

25年4月 制定予定

地域住民によるエネルギー事業者や企業と地域との公共的連携による再生可能エネルギーによる発電事業を公民協働事業として支援する。

支援ツール

- 参入事業に対し、市民ファンドや銀行等融資などの市場資金が円滑に調達されるよう、附属機関が公的に信用補完機能を担い、審査情報も公表。事業に対するコンサルティングも行う。
- 発電事業立ち上げ期の調査費用にのみ充てられる資金を貸し出すために基金を造成し、無利子融資を行う。
- 行政財産(土地・建築物(屋根))の目的内利用のルール化

2